

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	作業療法評価学実習Ⅳ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	昼間部2年	学期及び曜時限	後期 木1・2	教室名	802/機能訓練室
担当教員	三田 直人				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。</p> <p>【資格】 音楽健康指導士 準2級 地域音楽コーディネーター</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>これまでに習得した、関節可動域測定、徒手筋力検査、上田法、感覚検査、反射、面接の評価を模擬患者に対して実施し、各評価技術を学び・習得します。 また、面接やリスク管理(移乗)などの評価、技術も学びます。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>定期試験 :20% 実技試験 :80%</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<p>①標準作業療法学 作業療法評価学 ②新・徒手検査法 ③作業療法マニュアル66 生活行為向上マネジメント ・配布資料:授業時適宜配布</p>					
《授業外における学習方法》					
<p>・これまでに習った評価方法の手順を復習し、授業開始までに実施できるようにしておいてください。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
<p>実際の対象者へ“安全”に評価できるようになるために、まず健常者に対して“正確”に測定できるようになってください。確実な知識は自信につながり、反復練習によって技術が確実になります。余裕ある態度で対象者さんと向き合うためにも、自信と確実性を得てください。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)を実施できる	配布資料		
	各コマにおける授業予定	授業概要の説明・1部OSCE:態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)			
第2回	授業を通じての到達目標	態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)を実施できる	配布資料	配布資料に準じ、1部OSCEの手順を覚える	
	各コマにおける授業予定	1部OSCE:態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)練習			
第3回	授業を通じての到達目標	態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)を実施できる	配布資料	配布資料に準じ、1部OSCEの手順を覚える	
	各コマにおける授業予定	1部OSCE:態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)練習			
第4回	授業を通じての到達目標	態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)を実施できる	配布資料	配布資料に準じ、1部OSCEの手順を覚える	
	各コマにおける授業予定	1部OSCE:態度(挨拶・姿勢・言葉遣い)実技			
第5回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で測定を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書① ゴニオメーター	教科書①P.72～P.95	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:関節可動域測定			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で測定を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書① ゴニオメーター	教科書①P.72～P.95
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 関節可動域測定		
第7回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で測定を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書① ゴニオメーター	教科書①P.72～P.95
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 関節可動域測定		
第8回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書②	教科書②
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 徒手筋力検査		
第9回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書②	教科書②
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 徒手筋力検査		
第10回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書②	教科書②
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 徒手筋力検査		
第11回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.130～P.137
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 反射		
第12回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.130～P.137
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 反射		
第13回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.228～P.295
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: BrunnstoromStageTest (BrS-t)		
第14回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.228～P.295
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: BrunnstoromStageTest (BrS-t)		
第15回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.228～P.295
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: BrunnstoromStageTest (BrS-t)		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	作業療法評価学実習Ⅳ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	後期	教室名	802/機能訓練室
担 当 教 員	林 辰博				
実務経験と その関連資格	作業療法士として総合病院に勤務し身体障害領域に従事。 各種心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 職能団体理事・大阪市障がい支援区分審査員としても活動。				
《授業科目における学習内容》					
これまでに習得した、関節可動域測定、徒手筋力検査、上田法、感覚検査、反射、面接の評価を模擬患者に対して実施し、各評価技術を学び・習得します。 また、面接やリスク管理(移乗)などの評価、技術も学びます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験 : 20% 実技試験 : 80%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
①標準作業療法学 作業療法評価学 ②新・徒手検査法 ③作業療法マニュアル66 生活行為向上マネジメント ・配布資料: 授業時適宜配布					
《授業外における学習方法》					
・これまでに習った評価方法の手順を復習し、授業開始までに実施できるようにしておいてください。					
《履修に当たっての留意点》					
実際の対象者へ“安全”に評価できるようになるために、まず健常者に対して“正確”に測定できるようになってください。確実な知識は自信につながり、反復練習によって技術が確実になります。余裕ある態度で対象者さんと向き合うためにも、自信と確実性を得てください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.114～P.129	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 感覚検査			
第17回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で検査を実施し、SP設定に対して安全に評価ができる	教科書①	教科書①P.114～P.129	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 感覚検査			
第18回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で面接を実施し、SP設定の生活行為の目標・問題を聞き取る事ができる(心身機能・活動・参加)	教科書①③	教科書①P.36～P.48 教科書③P.18～P.21	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 面接			
第19回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で面接を実施し、SP設定の生活行為の目標・問題を聞き取る事ができる(心身機能・活動・参加)	教科書①③	教科書①P.36～P.48 教科書③P.18～P.21	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 面接			
第20回	授業を通じての到達目標	標準的な手順で面接を実施し、SP設定の生活行為の目標・問題を聞き取る事ができる(心身機能・活動・参加)	教科書①③	教科書①P.36～P.48 教科書③P.18～P.21	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE: 面接			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	移乗場面において安全・安心な介助・見守りができる	配布資料	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:リスク管理		
第22回	授業を通じての到達目標	移乗場面において安全・安心な介助・見守りができる	配布資料	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:リスク管理		
第23回	授業を通じての到達目標	移乗場面において安全・安心な介助・見守りができる	配布資料	
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:リスク管理		
第24回	授業を通じての到達目標	安全で手順通りの関節可動域測定・徒手筋力検査・BrS-T・感覚検査・反射検査の評価技術・面接・リスク管理ができる	教科書①～③	教科書①～③
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:実技(総合)		
第25回	授業を通じての到達目標	安全で手順通りの関節可動域測定・徒手筋力検査・BrS-T・感覚検査・反射検査の評価技術・面接・リスク管理ができる	教科書①～③	教科書①～③
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:実技(総合)		
第26回	授業を通じての到達目標	安全で手順通りの関節可動域測定・徒手筋力検査・BrS-T・感覚検査・反射検査の評価技術・面接・リスク管理ができる	教科書①～③	教科書①～③
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:実技(総合)		
第27回	授業を通じての到達目標	安全で手順通りの関節可動域測定・徒手筋力検査・BrS-T・感覚検査・反射検査の評価技術・面接・リスク管理ができる	教科書①～③	教科書①～③
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:実技(総合)		
第28回	授業を通じての到達目標	安全で手順通りの関節可動域測定・徒手筋力検査・BrS-T・感覚検査・反射検査の評価技術・面接・リスク管理ができる	教科書①～③	教科書①～③
	各コマにおける授業予定	2部OSCE:実技(総合)		
第29回	授業を通じての到達目標	難渋事例への評価方法について予測・推論し、対応方法のパターンを熟考する	教科書①～③	
	各コマにおける授業予定	3部OSCE:難渋事例への評価		
第30回	授業を通じての到達目標	難渋事例への評価方法について予測・推論し、対応方法のパターンを熟考する	教科書①～③	
	各コマにおける授業予定	3部OSCE:難渋事例への評価		